



アイガモのヒナを田んぼへ
カモしゅん入田式

うやま農園(頓原)で、アイガモ農法のためカモを田んぼに放す「カモしゅん入田式」が行われました。この企画は、農林業体験や自然・文化に触れることを目的とした「しまね田舎ツーリズム」の一環として、うやま農園が企画し、小才田地区が運営。県内外から26人が参加し、野鳥からカモを守るためのテグスを張る作業や、アイガモのヒナを田んぼに放す作業を行いました。

作業の後は、アイガモ農法で育てた「ごはんや、サツマイモ」の振る舞いもあり、参加者は飯南町の自然と食を満喫していました。



作業の間子どもたちは愛らしいカモのヒナに夢中

5.17
土



安心安全に暮らせる地域づくり
声かけ訪問隊に
雲南地域防犯連合会表彰

志々地区の地域づくりに取組む「わっしょい!志々会」の活動の一つである「声かけ訪問隊」が、雲南地域防犯連合会長及び雲南警察署長の連名により表彰されました。

声かけ訪問隊は平成27年に活動を開始。住民ボランティアと社会福祉協議会、駐在所などの協力団体が連携し、高齢者世帯などを毎月訪問しています。

訪問先では、健康状態や困り事などの近況を確認。必要があれば、速やかに行政機関やご家族に情報提供を行います。

藤原裕代表は「長年活動してきた住民ボランティアの皆さんに頭が下がる思い。今後も長く活動を続けていきたい」と語りました。



雲南警察署での表彰式に出席した藤原裕代表(前列左)

5.22
木



カラオケやおしゃべりで交流を
オレンジカフェ赤名峠

認知症に関する情報交換や相談ができるオレンジカフェ赤名峠が、上赤名会館で開かれました。

当日は、オレンジカフェいずも運営に携わる方や、認知症の家族がいる方などが参加。オレンジカフェを知ったきっかけや認知症のことを話したり、カラオケや体操をしたりして楽しみました。

オレンジカフェ赤名峠を主催する、赤名峠有責任事業組合の半田眞道さんは「町内外を問わずどなたでも参加できるので、気軽に来てもらいたい」と話しました。オレンジカフェ赤名峠は、毎月第4土曜日に、上赤名会館で開催されます。



体を動かしてリフレッシュ

5.24
土



からだど頭どこころの運動
おやこ運動教室

来島公民館主催の「おやこ運動教室」が来島地区こども広場で開催されました。

講師は影山寛美さん(下来島)。影山さんは運動療法に必要な知識や技術を習得した、健康運動看護師でもあり、参加者に効果的な運動方法などを伝えました。

参加者は、足裏や手の平に絵の具を塗り、思い思いの足形・手形アートを作成。身体機能の向上や、けがの予防にもつながるため、足裏の感覚を鍛えることが目的です。

はじめは慣れない裸足に悲鳴を上げていた子どもたちも、絵の具の感触を楽しみながら、作品づくりに夢中になっていました。



課題研究に取り組む中高生もスタッフとして参加し子どもたちとの交流を楽しみました

5.31
土



味噌づくりと発酵食品を学ぶ
てまみそのみそづくり
ワークショップ

谷自治振興会主催の水ようカフェ「みそづくりワークショップ」が谷笑楽校で開催されました。

参加者は、発酵食品に詳しい大上祥子さん(角井)と一緒に味噌仕込みを体験。熟成力の強い生麹や天然塩など、こだわりの素材で仕込む味噌に、「できあがり待ち遠しい」と声があがりました。

大豆を蒸す時間を利用し、味噌を使った炊き込みごはんやドレッシングなどを作り昼食に。味噌を通して、発酵食品について学びを深める機会となりました。



県外からも参加者があり交流を深めました

5.31
土



楽しく人権を学ぼう
人権学習+α

谷公民館が主催する「人権学習+α」が、谷笑楽校で開催され、親子連れで賑わいました。

紙芝居作家のよしとさんが、「人権」をテーマにした紙芝居を上演。参加者も一緒に歌ったり、親子で体を動かしたりしながら、人権に対する学びを深めました。

続いて、島根県レクリエーションインストラクターの流水真理子さんを講師に、親子でふれあい、思いやりを育む体操も体験しました。

会場には、谷老人クラブによる「昔のあそびコーナー」もあり、子どもたちの賑やかな笑い声が響いていました。



よしとさんのパフォーマンスに見入る参加者

5.31
土



鮮やかなポピーの花に囲まれ
第32回ポピー祭

「第32回ポピー祭」が、東三瓶フラワーバレーイベント広場で開催されました。

メインステージは、頓原中学校吹奏楽部の演奏や、地元志津見在住の安部さんがボーカルを務める「安部ひかるwithキラキラスウィングフレズ」の公演などで盛り上がりました。

会場には、地元出店者などの飲食店がずらりと出店。やまめのつかみ取り、モデル写真撮影会にも長い行列ができていました。

志津見ダム湖巡視艇乗車やダム見学会も人気を集め、会場に訪れた約5500人の来場者は、思い思いにお祭りを楽しんでいました。



さだ須佐太鼓の迫力ある演奏

6.8
日



鮮やかなポピーに見入る来場者



夢中でヤマメを追いかける子どもたち